

令和2年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

富山県

行事名称	岩峯雄山神社防災訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和3年1月24日（日）10:00～10:30
実施場所	重要文化財雄山神社前立社壇本殿ほか（富山県中新川郡立山町岩峯寺1番地）
主催者	雄山神社、立山町消防本部

■実施内容

訓練の想定

雄山神社境内にある拝殿より出火（原因不明）、幣殿で接続している重要文化財雄山神社前立社壇本殿に延焼する恐れがあると想定。

訓練の内容

雄山神社職員による火災発見、通報、初期消火（消火器）、参拝者の避難誘導、重要物品（模擬）の搬出訓練を実施。自衛消防隊、消防署、消防団による放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

雄山神社職員	（5名）：119番通報、初期消火、参拝者の避難誘導、重要物品の搬出
雄山神社自衛消防隊	（9名）：放水訓練
立山町消防団	（14名）：放水訓練、講評（団長）
立山町消防署	（10名）：全体統括、放水訓練、救助訓練
上市警察署	（1名）：現場立会い
立山町教育委員会	（1名）：現場立会い

特に工夫した点

採水口と送水口を使用した中継放水訓練を実施した。また、日頃の管理状況を鑑み、神社職員による参拝者の避難誘導、重要物品の搬出訓練を実施した。

問題点・課題

訓練は、設備及び人員が万全の状況を想定した計画であり、ほぼ滞りなく実施された。初期消火訓練において消火器1本で鎮火できず、慌てて2本目を取りに行く事態となった点は改善が必要である。今後は、平日の昼間や夜間など人員が整わない状況を想定した訓練を行う必要があると考える。

その他

防災訓練の実施によって、雄山神社職員及び自衛消防隊が消防設備の状況を再確認でき、また、消防団や地元住民との連携を図る貴重な機会となっていることから、今後も継続して実施することが重要である。

訓練風景



救助訓練
（消防署）



放水訓練
（消防署、自衛消防隊、消防団）



点検・報告